

高気圧酸素治療について

1 高気圧酸素治療とは

高気圧環境下で患者に高濃度酸素を呼吸させ、これにより病態の改善を図る治療法です。体内の気泡体積を縮小させ減圧症、空気塞栓症などの潜水障害の病態を改善させる以外に、血中酸素濃度を上昇することで、組織修復の促進、浮腫の軽減、抗菌作用などの効果で各種疾患の病態を改善させます。

2 治療の概要

当院では、民間でも広く使用されている米海軍高気圧酸素治療表を用いて治療を実施しています。一般的には、約2時間程度の治療時間となりますが、重症の潜水障害などでは4時間半以上の治療時間を要することがあります。

治療に際しては、原則看護師（准看護師）もしくは医師が治療装置内に入り、患者様の状態を確認します。なお、治療装置内には、発火の可能性がある物、圧力により故障の可能性がある物は持ち込むことができません。

3 治療の適応

空気塞栓症、減圧症といった潜水障害以外に以下の疾患が治療の適応となります。

- ・急性一酸化炭素中毒、その他のガス中毒
- ・重症軟部組織感染症（ガス壊疽、壊死性筋膜炎）又は頭蓋内膿瘍
- ・急性末梢血管障害（重症熱傷・凍傷、広範挫傷、コンパートメント症候群等）
- ・脳梗塞
- ・重症の低酸素脳症
- ・網膜動脈閉塞症
- ・放射線または抗がん剤治療と併用される悪性腫瘍
- ・皮膚移植（皮弁）
- ・スモン
- ・重症頭部外傷もしくは開頭術後の意識障害又は脳浮腫
- ・腸閉塞
- ・突発性難聴
- ・難治性潰瘍を伴う末梢循環障害
- ・骨髄炎又は放射線障害



（当院治療装置：外観/内観）